

2014 年度第 4 回日本バレーボール学会理事会

1. 日時：2015 年 3 月 7 日（土）10：00～
2. 場所：早稲田大学 早稲田キャンパス 26 号館 601 室（大隈ガーデンタワー 6F）
3. 出席者予定者：遠藤俊郎会長，明石正和・柏森康雄各副会長，河合学理事長，島津大宣・藤島みち各監事，板倉尚子，黒川貞生，後藤浩史，小林海，小林宣彦，杉山仁志，高根信吾，高野淳司，田中博史，濱田幸二，廣紀江，古澤久雄，松井泰二，湯澤芳貴，吉田清司各理事
出席：21 名 欠席：9 名（内連絡無 1 名） 委任状：8 名
4. 報告：
 - ① 各委員会関係
 - （1）編集委員会関係
 - （2）企画委員会関係
 - （3）渉外委員会関係
 - （4）総務委員会関係
 - ② バレーボール指導教本（仮称）の作成協力について（会長）
 - ③ バレーボール歴史（仮称）出版 WG について（理事長）
 - ④ その他
5. 議題
 - ① 第 20 回大会準備進捗状況について（実行委員長）
 - ② 2015 バレーボールミーティング準備進捗状況について（実行委員長）
 - ③ 第 21 回大会準備進捗状況について（企画委員会）
 - ④ 2014 年度事業報告（案）について（理事長）
 - ⑤ 2014 年会計報告（案）について（総務委員会会計担当）
 - ⑥ 2015 年度事業計画（案）について（理事長）
 - ⑦ 2015 年予算（案）について（総務委員会会計担当）
 - ⑧ 2015 年度調査研究費補助審査委員会報告（審査委員長）
 - ⑨ 第 20 回総会について（理事長）
 - ⑩ 2015 年度～2018 年度役員について（理事長）
 - ⑪ その他

テーマ:「地域から日本のバレーボールを変える～オガールベースの挑戦～」

主催:日本バレーボール学会

後援:岩手県バレーボール協会,紫波町

期日:2015年8月8日(土)10:00～15:30

会場:紫波町情報交流館,オガールベース(岩手県紫波町)

■2015バレーボールミーティング実行委員会

名誉会長:小笠原義文(岩手県バレーボール協会会長)

会長:河合学(日本バレーボール学会会長)

実行委員長:高野淳司(一関工業高等専門学校)

実行副委員長:黒川貞生(明治学院大学),吉田清司(専修大学)

実行委員:千葉智行(盛岡大学),小川宏(福島大学),石丸出穂(仙台大学),三村泰成(鶴岡工業高等専門学校),松尾忠利(福島工業高等専門学校),三上浩永(岩手県立住田高等学校)

■日程 9:30～10:00 受付(場所 オガールプラザ 中央棟2F,紫波町情報交流館 大スタジオ前)

10:00 開会 挨拶

10:10～12:30 講演・パネルディスカッション

講師:綱嶋久子氏(NPOアウルズ紫波スポーツアカデミー,旧姓 向井,元東レアローズ主将)

「アウルズ紫波スポーツアカデミーの役割と可能性」

講師:岡崎正信氏(オガールベース株式会社代表取締役)

「地域創生とスポーツ」

～昼食～

13:30～15:30:オンコートレクチャー(場所 オガールベース内,オガールアリーナ)

講師:綱嶋久子氏(NPOアウルズ紫波スポーツアカデミー)

解説:岡崎正信氏(オガールベース株式会社代表取締役)

「リーダーの育成を目的としたジュニア指導」

15:30 閉会

■参加費

カテゴリー	参加費(事前登録)	参加費(当日登録)
会員(一般)	1,000円	1,500円
会員(学生)	無料	無料
非会員(一般)	1,500円	2,000円
非会員(学生)	500円	500円

※学生は受付時学生証を提示,高校生以下は無料

※小,中,高校生を引率される指導者の方は事前に2015バレーボールミーティング実行委員会事務局へ御連絡ください.別途対応させていただきます(参加費無料).

■参加申込方法

以下の方法でお申込み下さい。当日の受付混雑緩和のため、事前申込みにご協力ください。

○事前申込みの方・・・2015年8月1日(土)までに申込み登録フォーム<http://goo.gl/forms/nXliVnznQI>に直接アクセスし、必要事項を入力して送信してください。また参加費も2015年8月1日(土)までに下記の口座にお振込ください。

振込先金融機関：楽天銀行

支店および番号：マーチ支店(店番号：211)，口座番号：4604960

口座名義：高野淳司(タカノアツシ)

○当日申込みの方・・・申込み登録フォームは使用せず、当日、受付にて手続きを完了してください。

■情報交換会

16:30より「シュガーズカフェ紫波店」(オガールプラザ東棟1F)において講師を交えての情報交換会を開催いたします。会費は会員・非会員ともに4,000円です。2015年8月1日(土)までに参加費と併せてご入金下さい。当日参加も可能ですが、準備の都合上、極力事前のお手続きをお願いいたします。当日参加の方は、受付にて手続きを完了させてください。

■諸連絡

- ・オンコートレクチャー会場のオガールアリーナは土足厳禁です。室内用シューズ、スリッパ等のご持参をお願いいたします。
- ・会場周辺に宿泊施設がいくつかありますが、繁忙期につき部屋数に限りがあります。宿泊をされる方はお早目にご予約ください。

会場周辺の宿泊施設

オガールイン	Tel 019-681-1256	会場(オガールベース)内
紫波グリーンホテル	Tel 019-676-6333	会場まで徒歩約7分
紫波ビジネスホテル	Tel 019-676-5850	会場まで徒歩約15分
ラ・フランス温泉館	Tel 019-673-8555	会場まで車で約15分

※詳細につきましては各施設にお問い合わせください

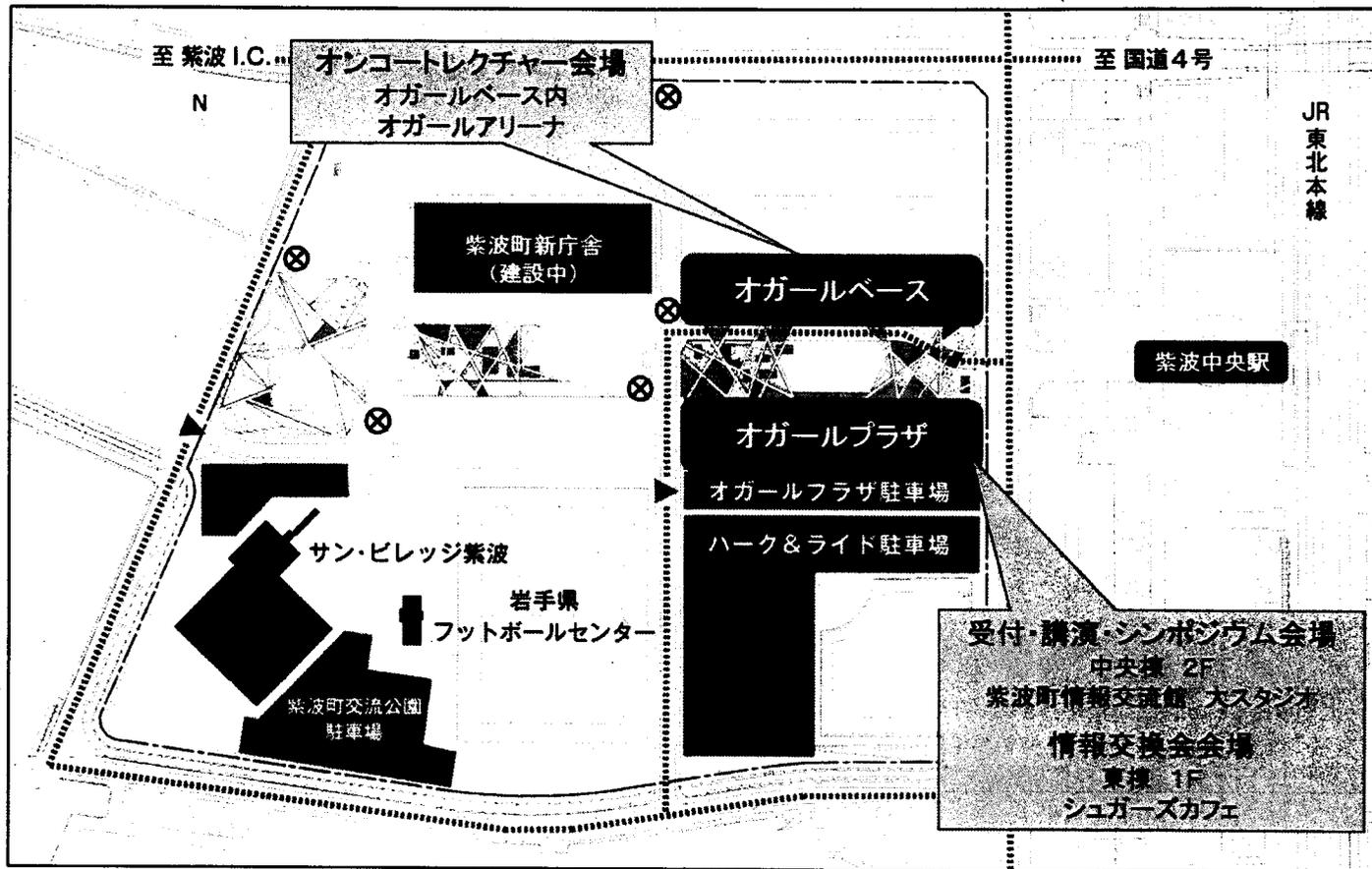
■2015バレーボールミーティング実行委員会事務局

担当：高野 淳司

〒021-8511 岩手県一関市萩荘字高梨 一関工業高等専門学校

TEL/FAX：0191-24-4792

E-mail：2015vmeeting@gmail.com



2015 バレーボールミーティング 会場図

アクセス

- ・電車（新幹線）でお越しの方

JR 盛岡駅から東北本線上りで紫波中央駅下車 乗車時間約 20 分

紫波中央駅から徒歩 2 分

- ・飛行機でお越しの方

いわて花巻空港から車で約 20 分

JR 花巻空港駅から東北本線下りで紫波中央駅下車 乗車時間 12 分

諸注意

- ・オンコートレクチャー会場のオガールアリーナは土足厳禁です。スリッパは数に限りがございますので中履き等のご持参にご協力願います。
- ・会場周辺に宿泊施設がいくつかありますが、繁忙期につき部屋数に限りがあります。宿泊をされる方はお早目にご予約ください。

会場周辺の宿泊施設

オガールイン	TEL 019-681-1256	会場（オガールベース）内
紫波グリーンホテル	TEL 019-676-6333	会場まで徒歩約 7 分
紫波ビジネスホテル	TEL 019-676-5850	会場まで徒歩約 15 分
ラ・フランス温泉館	TEL 019-673-8555	会場まで車で約 15 分

※詳細につきましては各施設にお問い合わせください

OWLS 紫波 バレーボールアカデミー

網嶋 久子 コーチ



- 1995 就実高等学校（岡山県）でインターハイ優勝
- 1996～1998 石川島播磨重工業（広島県呉市を本拠地に活動していたチーム）
- 1998～2000 ユニテカ（当時、大阪府貝塚市を本拠地に活動していて、東京五輪で金メダルを獲得した「東洋の魔女」の母体であり、現在 Vプレミアリーグの東レ・アローズの前身となったチーム。）
- 2000～2008 東レ・アローズ 滋賀県大津市を本拠地に活動中。現在、プレミアリーグでトップに立つバレーボールチーム。木村沙織選手、大山加奈選手、荒木絵里香選手等を引っ張り、異例の 5 年連続キャプテンを務め、日本一を達成した。
- 2008～ 2008 年 5 月現役引退後、東レの事務局に籍を置き、バレーボール教室やコーチングキャラバンで後進の指導。2008 年 10 月にご結婚をされて、2009 年に退社。その後も、各地方でのバレーボール教室のコーチとして、バレーボールの指導をされていた。

1978 年 3 月 1 日	生まれ
出身地	広島県
愛称	『ダン』
身長	176cm
ポジション	WS
利き手	右
指高	229cm
スパイク	305cm
ブロック	284cm



おかざき まさのぶ 岡崎 正信氏 プロフィール

オガールプラザ(株) 代表取締役

- 平成 7 年 地域振興整備公団入団（東京本部都市再開発事業課配属）
- 平成 9 年 建設省都市局都市政策課（地方都市開発業務、中心市街地活性化法）
- 平成 10 年 地域振興整備公団千歳開発所主任（産業業務団地開発担当）
- 平成 11 年 地域振興整備公団北海道支部ちいきづくり推進室主任
- 平成 12 年 地域振興整備公団東京本部工業再配置事業部計画第 2 課主任（西日本担当）
- 平成 14 年 地域振興整備公団退団、岡崎建設株式会社入社
- 平成 18 年 東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻入学
- 平成 20 年 オガールプロジェクトに従事、オガール紫波株式会社取締役（退職）、オガールプラザ株式会社代表取締役

<その他>

- 週刊誌 AERA が選ぶ「日本を立て直す100人」に選出される（平成23年）
- 「地域活性化伝導師」に内閣官房から認定される（平成24年）
- 新経済成長戦略の先行事例に「オガールプロジェクト」が選定される（平成25年）



こんにちは！網嶋久子です！！



私は広島県の宮島という島育ちのためバレーボールと初めて出会ったのは中学生の頃でした。それから 2008 年に引退するまで選手として、人間としてバレーボールにたくさんの事を教えてもらいました。選手を引退した今、改めてバレーボールの素晴らしさを感じています♪♪

少しでも多くの方々とバレーボールが出来ることを楽しみにしています！

2014年度事業報告(案)

資料2

1. 第20回記念大会の開催

▽期日：2015年3月7日(土)・8日(日)

▽場所：早稲田大学 早稲田キャンパス

▽テーマ：「RIO 2016そしてTOKYO 2020へ ～ブラジルに学ぶ～」

▽内容：

- ・特別講演 「誰もが輝く運動部活動を目指して」
講師 友添秀則氏(早稲田大学スポーツ科学学術院長)
- ・基調講演 「ブラジルを目指すバレーボール」
講師 アントニオ・マルコス・レルバッシ氏
(ブラジル男子シニアチーム団長, 男子ジュニア・ユース監督)
- ・シンポジウム 「RIO 2016そしてTOKYO 2020へ」
シンポジスト アントニオ・マルコス・レルバッシ氏
(ブラジル男子シニアチーム団長, 男子ジュニア・ユース監督)
酒井新悟氏(日本バレーボール協会)
朝日健太郎氏(〇〇〇〇〇)
- ・20周年記念フォーラム 「バレーボールにおけるブロックングについて」
 - ①ブロック技術の変遷(吉田清司:専修大学)
 - ②ブロック動作遂行過程の検討(松井泰二:早稲田大学, 根本研:日本体育大学)
 - ③ブロックングのバイオメカニクス
(黒川貞生:明治学院大学, 小林海:目白大学, 山田雄太:大同大学)
 - ④ブロックにおけるスポーツ外傷・傷害とその対応・予防
(橋本吉登:湘南東部総合病院, 板倉尚子:日本女子体育大学)
- ・オンコートレクチャー 「ブラジルにおけるコーチング」
講師 アントニオ・マルコス・レルバッシ氏
(ブラジル男子シニアチーム団長, 男子ジュニア・ユース監督)
- ・一般研究発表 〇件
- ・参加者 約〇名
- ・総会
- ・20周年記念パーティー

2. バレーボールミーティングの開催

▽期日：2014年8月17日(日)

▽場所：大東文化大学東松山キャンパス

▽内容：

- 埼玉県バレーボールスポーツ指導者協議会 共同開催
- ・基調講演 「JVAにおけるゴールドプラン ～これからの普及と一貫指導について～」
講師 亀ヶ谷順一(JVA国内事業本部指導普及委員会委員長)
緒方 良(JVA国内事業本部指導普及委員会副委員長)

・シンポジウム

「一貫指導から求めるジュニア～ユース世代の育成」

講師 飯塚初義(習志野市立習志野高等学校男子バレーボール部監督)

赤木貴雅(つくばユナイテッドSun GAIA マネージャー)

・参加者：約136名

3. 「バレーボール研究」の発刊および発刊準備、「ニュースレター」の発行

▽2014年6月30日付 バレーボール研究16巻1号発刊

原著論文1編, 研究資料7編

▽2014年5月1日付 バレーボール研究17巻1号の発刊準備中

▽2014年11月28日付 ニュースレターNO. 21発行

4. バレーボールに関する研究事業

▽バレーボール関係研究文献データベースの整備と運用

・日本バレーボール学会ホームページ上で公開中

(データ件数2,707件 2011-2013新規データ新規登録予定150)

全データ整備状況確認・600件整備中

データベース・フォーマット一部改訂中 2014年2月現在

▽調査研究補助

・バレーボールのVプレミア・チャレンジリーグにおける観戦者意識および行動に関する研究

研究代表者：廣 美里

5. 諸会議の開催

▽理事会

・第1回：2014年8月17日 大東文化大学 東松山キャンパス

・第2回：2014年11月8日 日本女子体育大学

・第3回：2015年1月11日 大東文化大学 大東文化会館

・第4回：2015年3月07日 早稲田大学 早稲田キャンパス

▽総会

・第20回：2015年3月8日 早稲田大学 早稲田キャンパス

6. その他諸事業の実施

▽役員選挙の実施

▽20周年記念事業「バレーボールの歴史(仮称)」本の出版準備

▽JVA指導者教本(仮称)出版協力準備

▽学会ホームページおよびメーリングリストの運用と整備(<http://www.jsvr.org>)

▽日本学術会議との連携

▽日本バレーボール協会との連携

▽日本コーチング学会との連携

資料.3

2014年決算報告(案)

1. 収入の部

項目	金額		摘要
	予算額	決算額	
会費	1,500,000	1,756,748	@5,000×352名分(過年度分を含む) 学生会員@3,000×5名分 (UC手数料 -18252)
大会余剰金	0	83,833	第19回学会大会: 81,891 第1回バレーボールミーティング: 1,942
広告費	200,000	0	
繰越金	2,773,187	2,773,187	2013年度より繰り越し
雑収入	1,000	13,516	預金利息・機関誌頒布
その他	0	100,000	研究補助費返還金100,000
合計	4,474,187	4,727,284	

2. 支出の部

項目	金額		摘要
	予算額	決算額	
会議費	500,000	253,000	会議お茶代・理事会交通費補助 会費銀行振替関連経費、振込手数料 事務用品、webリニューアル・web運営費等 選挙管理費
事務費	600,000	247,516	
通信費	200,000	162,856	宅急便・メール便(選挙関連送付を含む)
大会補助費	600,000	600,000	第1回バレーボールミーティング: 200,000 第20回大会: 400,000
学会封筒	150,000	56,160	学会封筒(角2・長3)
機関誌発行費	650,000	711,752	バレーボール研究16巻1号 ニュースレター21号
委員会経費	350,000	185,424	編集委員会169,370・渉外委員会0 企画委員会16,054・総務委員会0
調査研究費	600,000	150,000	調査研究補助150,000 歴史本プロジェクト0
予備費	500,000	0	香典・弔電等慶弔費
次年度繰越金	324,187	2,360,576	
合計	4,474,187	4,727,284	

以上御報告申し上げます。

2015年3月7日
日本バレーボール学会
総務委員会
委員長 田中 博史 印略

証憑書類等を監査の結果、以上の報告に相違ないことを御報告いたします。

2015年3月7日
日本バレーボール学会
監事 島津 大宣 印略
藤島 みち 印略

資料.5

2015年収支予算(案)

1. 収入の部

項目	前年度予算	今年度予算	摘要
会費	1,500,000	1,500,000	@5,000×300名分(概数)
広告費	200,000	200,000	機関誌広告費
大会余剰金		0	
繰越金	2,773,187	2,360,576	2014年度より繰り越し
雑収入	1,000	1,000	預金利息・機関誌頒布
合計	4,474,187	4,061,576	

2. 支出の部

項目	前年度予算	今年度予算	摘要
会議費	500,000	500,000	諸会議経費・理事会主要役員会交通費補助 会費銀行振替関連経費、振込手数料、事務用品、 web運営費、HP管理費(業者委託)
事務費	600,000	600,000	
通信費	200,000	200,000	郵送費、宅急便代等
大会費	600,000	600,000	大会、バレーボールミーティング等の開催経費 (大会400,000・バレーボールミーティング 200,000)
印刷費	150,000	150,000	学会封筒・資料等の印刷費
機関誌発行費	650,000	750,000	「バレーボール研究17巻1号」発刊・ニュースレター発行
委員会経費	350,000	350,000	総務・渉外・企画: 各50,000、編集180,000、文献 データベース作成事業20,000
調査研究費	600,000	600,000	調査研究補助費、プロジェクト研究補助費
予備費	500,000	300,000	国際会議準備費等
次年度繰越金	324,187	11,576	
合計	4,474,187	4,061,576	

2015年度事業計画 (案)

1. 第21回大会の開催

▽期日：2016年〇月〇日(土)・〇日(日)

▽場所：〇〇〇〇大学

所在地：

2. バレーボールミーティングの開催

▽期日：2015年8月8日(土)

▽場所：紫波町情報交流館, オガールベース(岩手県紫波町)

▽テーマ：「地域から日本のバレーボールを変える～オガールベースの挑戦～」

3. 「バレーボール研究」の発刊および「ニュースレター」の発行準備

▽バレーボール研究17巻の発刊と18巻発刊準備

▽ニュースレターNo. 22号の発行

4. バレーボールに関する研究事業

▽バレーボール関係研究文献データベースの整備と運用

▽調査研究補助

▽バレーボール歴史本(仮称)の出版

▽JVA指導教本(仮称)の出版協力

5. 会員情報の管理と名簿の整備(会員名簿は隔年で機関誌に掲載)

6. 公式サイトの管理・運営

7. 国際交流事業の推進

8. 諸会議の開催

9. 日本バレーボール協会との連携

10. その他諸事業の実施

▽日本学術連合との連携

▽日本コーチング学会との連携

資料. 6

日本バレーボール学会
企画委員長
黒川 貞生 殿

日本バレーボール学会
調査研究費審査委員長
吉田 清司

日本バレーボール学会 2015 年度調査研究費審査結果について、下記の通り報告致します。

1. 研究テーマ

「バレーボールコートにおける特徴点を利用した3次元動作解析方法の開発」

2. 審査の結果

採用

不採用

3. 各審査委員からのコメント

(審査委員1)

競技運営に支障をきたすことなく、簡易に3次元動作解析を行うことが可能となる研究手法を開発するという意味で、未来のあらゆるレベルのバレーボール技術の探求に期待できる。また、過去の歴史的映像における動作を再現して、現代の動作と比較できる可能性をもった研究という意味でも、学術的に期待できる。従来法と簡便法の解析結果の差を定量して有用性を検討する際、統計学的に信頼性のある検定で行われることが担保できれば、調査研究として採用して良いと考える。

(審査委員2)

従来法と簡便法の相関を調査することになると思うが、従来法も絶対評価ではなく、誤差を含む相対評価である以上、簡便法の正確性を議論するには統計学的な処理がポイントになってくると思う。発表の際にはその点に十分留意していただきたい。

調査する内容に関しては明確な結果が出れば選手、指導者へ還元するところが大きく、バレーボール界への貢献が期待できると思う。

(審査委員3)

本調査研究は、実際の試合の動作やその他の変数を測定する際に必要なキャリブレーションを簡易的に行える方法を検討する点で有意義なものであると考えられる。

一方、その具体的な方法論が申請書には明記されておらず、特に、従来行われてきたキャリブレーション方法との比較や、本調査研究の妥当性をどのように確保するかについての説明文が欠如している点に問題が残る。さらに、研究の方法の中で「コート上の特徴点」と記されているが、3次元解析を行う際に必要な特徴点（最低8点が必要だが、アンテナを特徴点と定めても鉛直方向は最高4点の位置座標しか得られない）をどのように確保するかといった説明がなされておらず、研究の方法自体にも疑問が残る。いずれにしても、上述した疑問点に対する解決方法を明確にし、多くの研究者が用いることができる簡易的な3次元動作解析方法を確立することを期待する。

年度	調査研究費	研究代表者	調査研究費申請採択者；テーマ	学会発表	機関誌掲載	決算報告書
2006年度	100,000	宮内一美	一貫指導に関する指導現場の意識調査	○	Vol. 18へ掲載予定	○
	100,000	野口京子	スノーバレーボール普及の可能性について	○	Vol. 9 53-	○
2007年度	100,000	石垣尚男	バレーボールにおけるビジュアルスキルの研究 -指導者と選手の視線の違いから-	○	Vol.10 7-	○
	100,000	松井泰二	バレーボールにおけるブロック局面のoff the ball movement に関する研究 ~ナショナル代表選手を対象として~	○	Vol. 12 9-	○
2008年度	100,000	北 徹朗	Vリーグ加盟チームにおけるオフィシャルウェブサイトを紹介した情報提供の現状	○	Vol. 12 28-	○
	100,000	高根信吾	バレーボールのラリーポイントシステムにおける得点に関する研究 ~高校チームのゲームを中心に~	○	Vol. 15 8-15	○
2010年度	100,000	篠村朋樹	地域型ジュニア・ユース対象バレーボールチームの育成状況およびその実態調査	○		調査研究費返還済み
	100,000	橋本吉登	バレーボール競技者に発生するスポーツ傷害とスパイク動作の関係について	○	Vol. 18へ掲載準備中	2014年度中に報告予定
2011年度	150,000	黒川貞生	バレーボールのブロック動作のバイオメカニクスの研究	○	Vol. 18へ掲載準備中	○
2012年度	150,000	高野淳司	バレーボール選手における空間に意識能力とワーキングメモリの関係	○ 20回大会発表	Vol. 16 25-29	○
2013年度	150,000	永田聡典	スパイクジャンプの踏切脚の特性について ~ブレーキ足は本当に必要か~	○	Vol. 18へ掲載予定	督促手続き中
	150,000	山田雄太	バレーボールの試合時の移動距離に関する研究	○ 20回大会発表	Vol. 18へ掲載予定	○
2014年度	150,000	廣 美里	バレーボールの V プレミア・チャレンジリーグにおける観戦者意識および行動に関する研究	21回大会発表予定	Vol. 18へ掲載予定	2014年度中に報告予定
2015年度	150,000	村本名史	バレーボールコートにおける特徴点を利用した3次元動作解析方法の開発	21回大会発表予定	Vol. 19へ掲載予定	2015年度内に報告予定

資料. 7

資料.8

日本バレーボール学会

第20回総会

日にち：2015年3月8日

場 所：早稲田大学早稲田キャンパス

議事

- (1) 2014年度事業報告(案)について
- (2) 2014年決算報告(案)について
- (3) 2015年度事業計画(案)について
- (4) 2015年予算(案)について
- (5) 2015年度調査研究費について
- (6) 役員の変更について
- (7) 規約の改正及び細則の制定について
- (8) 投稿規定の改正について
- (9) その他

資料.9

日本バレーボール学会設立20周年記念パーティー

日時：平成27年3月7日

18時～(予定)

会場：大隈ガーデンタワー

式次第

- 開宴の辞：幹事代表
- 会長挨拶：遠藤俊郎会長
- 来賓挨拶：早稲田大学関係、ブラジル関係
- 乾杯(副会長)
- 祝宴スタート(歓談・飲食)
- 協賛企業表彰式
- 歓談・飲食
- アトラクション(学会初期の話：朽堀元会長)
- 歓談・飲食
- 副会長による締めくくり挨拶(手締め)
- 閉会の辞：幹事代表
- お開き、招待者のお見送り

以上

(敬称略, 50 音順)

名誉会長：遠藤俊郎 (大東文化大学)

特別顧問：朽堀申二, 矢島忠明

顧問：明石正和, 川合武司, 清川勝行, 島津大宣, 高橋和之, 原田智, 森田昭子

会長：河合 学 (静岡大学)

副会長：黒川貞生 (明治学院大学)

古澤久雄 (かのやすスポーツ研究所)

理事長：未 定 (大学)

監 事：柏森康雄 (大阪体育大学)

廣 紀江 (学習院大学)

理 事：石手 靖 (慶應義塾大学)

板倉尚子 (日本女子体育大学)

内田和寿 (京都ノートルダム女子大学)

小川 宏 (福島大学)

金子美由紀 (名城大学)

川田公仁 (つくば国際大学)

黒後 洋 (宇都宮大学)

小林 海 (目白大学)

篠村朋樹 (木更津工業高等専門学校)

杉山仁志 (武蔵丘短期大学)

高根信吾 (常葉大学)

高野淳司 (一関工業高等専門学校)

高橋宏文 (東京学芸大学)

田中博史 (大東文化大学)

鳥羽賢二 (びわこ成蹊スポーツ大学)

中西康巳 (筑波大学)

布村忠弘 (富山大学)

橋本吉登 (湘南東部総合病院 整形外科)

濱田幸二 (鹿屋体育大学)

廣 美里 (名古屋学院大学)

松井泰二 (早稲田大学)

安田 貢 (札幌大学)

湯澤芳貴 (日本女子体育大学)

横矢勇一 (大東文化大学)

吉田清司 (専修大学)

資料.10

【総務委員会】

委員長：

副委員長 (事務局長)：

委員： 金子美由紀 (名城大学), 高根信吾 (富士常葉大学)

田中博史 (大東文化大学), 廣 美里 (名古屋学院大学)

安田 貢 (札幌大学), 湯澤芳貴 (日本女子体育大学)

*後藤浩史 (愛知産業大学), *古瀬由佳 (静岡産業大学藤枝校舎)

【企画委員会】

委員長：

副委員長：

委員： 板倉尚子 (日本女子体育大学), 内田和寿 (京都ノートルダム女子大学)

小林 海 (目白大学), 篠村朋樹 (木更津工業高等専門学校)

布村忠弘 (富山大学), 橋本吉登 (湘南東部総合病院 整形外科)

濱田幸二 (鹿屋体育大学), 松井泰二 (早稲田大学)

吉田清司 (専修大学), *城 成人 (堺私立城山台小学校)

【渉外委員会】

委員長：

副委員長：

委員： 石手 靖 (慶應義塾大学), 川田公仁 (つくば国際大学)

杉山仁志 (武蔵丘短期大学), 鳥羽賢二 (びわこ成蹊スポーツ大学)

【編集委員会】

委員長：

副委員長：

委員： 小川 宏 (福島大学), 黒後 洋 (宇都宮大学)

高野淳司 (一関工業高等専門学校),

黒後 洋 (宇都宮大学), 高野淳司 (一関工業高等専門学校)

高橋宏文 (東京学芸大学), 中西康巳 (筑波大学)

横矢勇一 (大東文化大学), *水澤克子 (甲南大学)

*縄田亮太 (佐世保工業高等専門学校)

*：理事外

・所属は 2015 年 3 月現在の所属である。